

石川町

議会だより

No. 180

平成26年 11月 1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会広報
編集特別委員会



▲アート田[真鯉緋鯉] “とぎめきの里「のぎさわ」” (野木沢字曲木)

2014

9月定例会

P2 9月定例会審議結果

P5 紙上中継 (各常任委員会)

P6 9月定例会一般質問

P12 あれからどうなった?
(一般質問のその後は)

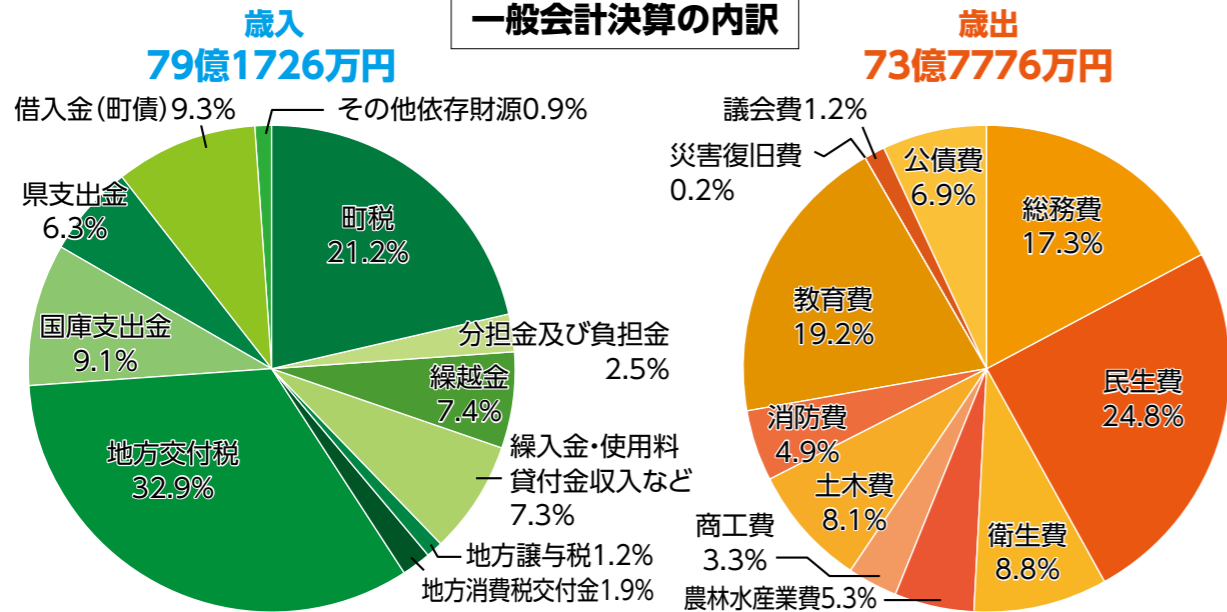
25年度 一般会計

総額118億円

はどう使われたのか

決算 審議

一般会計決算の内訳



▲石川中学校屋体耐震補強・大規模改修事業

平成26年9月定例会は、9月18日から26日までの9日間の会期で決算審議を中心に開催されました。
はじめに、平成25年度財政比率の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議。そのほか条例制定・改正や補正予算、人事案件を審議し決定しました。
一般質問には6人の議員が登壇し、32人の傍聴者がありました。

「審査結果」
平成25年度決算審査は、水道事業会計を2日間、一般会計及び特別会計などを8日間審査しました。監査の結果は、各会計と

決算審査報告

代表監査委員
渡邊 英昭
監査委員(議員)
下山田和雄

平成25年度石川町健全化判断比率について(報告)

区分	早期健全化比率	(参考) 平成24年度
①実質公債費比率(3年間平均)	9.7% (起債の許可が必要18.0%) (早期健全化基準25.0%)	11.1%
②将来負担比率	15.6% (早期健全化基準350.0%)	24.4%
③実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	-
④連結実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	-

*①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

平成25年度石川町資金不足比率について(報告)

区分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
簡易水道事業特別会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

も適正に処理されておりました。
また、予算の流用や予備費の充当は、緊急対応等やむを得ないものが大部分でしたが、適切な予算執行をお願いし、また、収入未済額の圧縮が望まれるところです。
町の財政状況については、地方公共団体財政健全化法に基づく実質公債費比率並びに将来負担比率については、いずれも前年度に比べ数値は改善されています。また、早期健全化基準を下回っていることを確認しました。
「審査意見」
地方においては、企業の業績や雇用情勢が不透明なことから、財源の確保が難しくなることが予想されます。財政の示す数値が好転しましたが、今後も適切かつ効率的な事務の執行に努められることを望みます。

平成25年度 会計別決算審議 (万円未満は四捨五入)

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引額	採決	賛・反	
一般会計	79億1726万円	73億7776万円	5億3950万円	認定	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	21億8178万円	21億2061万円	6117万円	認定	全員賛成
	後期高齢者医療	1億5419万円	1億4990万円	429万円	認定	全員賛成
	介護保険	15億4930万円	15億831万円	4099万円	認定	全員賛成
	母畑財産区	1796万円	34万円	1762万円	認定	全員賛成
	中谷財産区	727万円	20万円	707万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	2853万円	1371万円	1482万円	認定	全員賛成
	簡易水道事業	1億5860万円	1億5041万円	819万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	2億2347万円	2億1850万円	497万円	認定	全員賛成
水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金5710万円は、建設改良積立金に積み立てをする		可決及び認定	全員賛成	
	収益的収支	2億5631万円	1億9803万円			5828万円
	資本的収支	331万円	3304万円			△2973万円

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんした)

平成25年度主な事業

- ◆石川中学校屋体耐震補強
 - ◆統合小学校建設事業
 - ◆新庁舎建設実施計画
 - ◆JRいわき石川駅公衆トイレ建設
 - ◆特養老人ホーム施設整備支援事業
 - ◆農業水利施設整備事業
 - ◆共同福祉施設改修工事
 - ◆道路維持補修事業
 - ◆消防自動車ポンプ購入
 - ◆自由民権史跡整備事業
 - ◆多目的広場土改善工事
- その他、さまざまな事業に使われました。

紙 上 中 継

常任委員会審査



▲残したい美しいふるさとの田園風景

ふるさとの田園風景を残したい。美しいふるさとの田園風景を残したい。美しいふるさとの田園風景を残したい。美しいふるさとの田園風景を残したい。

3つの条例制定の意味するところは何か。なぜ、この時期に制定するのか。

現在の認可保育所では、認可をした県が定期的に指導監督等を行っています。これに準じて町条例による認可施設は町が指導監督を実施しますが、県の指導を得て、適正な保育環境を確保できるよう努めます。



▲クローバー保育園

空き家・ふるさと復興支援事業補助金の内容は、空き家は、ふるさとの田園風景を残したい。美しいふるさとの田園風景を残したい。美しいふるさとの田園風景を残したい。美しいふるさとの田園風景を残したい。

文教厚生 条例制定のメリットは 保育事業等柔軟に対応

入居者が空き家を購入又は賃借する場合は補助対象となります。また、アパートやマンションなど賃貸事業のために所有・管理されているものは除かれます。

現在の認可保育所では、認可をした県が定期的に指導監督等を行っています。これに準じて町条例による認可施設は町が指導監督を実施しますが、県の指導を得て、適正な保育環境を確保できるよう努めます。

総務産業建設 空き家・ふるさと復興支援事業 補助金について

町では、この制度に該当する場合は、町が補助金を交付します。

認可、確認後のチェックが重要です。どのように行うのか。

現在の認可保育所では、認可をした県が定期的に指導監督等を行っています。これに準じて町条例による認可施設は町が指導監督を実施しますが、県の指導を得て、適正な保育環境を確保できるよう努めます。

◆◆ 決まりました ◆◆ 条例制定・補正予算・請願ほか

件名と主な内容	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
	議決結果	草野 伝明	下山田和雄	関根 武一	渡邊 貴	秋山 茂雄	遠藤 真蔵	永沼 一夫	角田 忍	関根 信次	矢内 義将	中村孝太郎	山田 英重	二瓶 義雄	大野 肇
石川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
石川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
石川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
石川町長等及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年度石川町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	-
平成26年度石川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年度石川町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年度石川町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
石川町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「被災児童生徒就学支援等臨時特別交付金」による就学支援事業の継続を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「19歳以上の甲状腺に係る医療費の無料化に関する」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「労働者保護ルールの改悪に反対する」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「オスプレイの佐賀空港配備と低空飛行訓練等の全国運用中止を求める」意見書の提出を求める請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「消費税の税率引き上げ決定に反対する」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「九州電力川内原発1、2号機再稼働反対を求める」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
和久親音鉱山跡の保存、運営、整備に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
林道松作線の改良整備に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
地方財政の充実・強化を求める意見書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「被災児童生徒就学支援等臨時特別交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
19歳以上の甲状腺に係る医療費の無料化に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
労働者保護ルールの改悪に反対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
消費税の税率引き上げ決定に反対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
九州電力川内原発1、2号機再稼働反対を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
農業の未来に希望の持てる農業政策を推進する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

第4回臨時会 7月28日

石川町役場の位置変更条例の一部を改正する条例を廃止する条例

役場庁舎の位置変更に伴い町民から位置変更反対する署名が提出されたことにより、「石川町役場の位置変更条例の一部を改正する条例」が議会に提案され審議されました。審議の結果は賛成少数により否決されました。

審議結果 「否決」(賛成4、反対8)

賛成	瀬谷 信、関根 信、矢内 忍、中村
反対	草野 伝明、下山田和雄、関根 武一、渡邊 貴、遠藤 真蔵、永沼 一夫、角田 忍、二瓶 義雄



二瓶 義雄議員

Q 加納町長3期目の町政運営について

A 夢と希望の持てるまちづくりを推進する

質問 まちなか再生と、まちづくりについて。

答弁 今後4年間、夢と希望の持てるまちづくりを一步一歩着実に、目標を捉え推進する。

各種事業の展開を図ってまいります。今後の進め方につきましても、これまで以上に各地区の特色や個性を伸

ばし、特産品や地域資源を生かした元気ある地域活動が展開できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

質問 行政改革に取り組む決意、姿勢は。

答弁 これまで、『行政改革大綱』、『行政改革プログラム』、『集中改革プラン』等を策定し、歳出削減、歳入確保の取り組みを推進してきました。この結果、財政健全化法に基づく財政指標である、実質公債比率、将来負担比率とも大幅に改善し、警戒基準を大きく下回るなど、財政の健全性は保たれているものと考えています。平成25年度に、計画期間を3年とする『第3次集中プラン』を策定したところで、引き続き積極的な財源の確保、施策、事業の徹底した選択と集中など、行財政改革の断の取り組みを推進してまいります。

質問 子育て支援と教育の充実をどのように進めるのか。

答弁 妊婦健診費用の全額助成、子供医療費の無料化を継続します。また、放課後児童クラブの対象年齢を拡大し子どもの安全と保護者の就業を支援、さらに現在行っております『放課後子ども教室』の実施日を大幅に増加させます。また、小中学校の給食費の半額を補助し、子どもを育てやすい環境づくりに取り組んでまいります。

質問 産業の振興について基本的な施策は。

答弁 農業生産の主力となっている、水稲、畜産野菜、果樹等の生産振興については、生産組織の育成支援を図りながら農産物の生産振興策を進めてまいります。特に農作物の6次化支援と合わせて『いしかわ牛』、『いしかわりんご』といった地域ブランドの定着を図り、販路の拡大を支援してまいります。

質問 社会資本整備推進について。

答弁 石川バイパス、猫啼交差点改修等、県との連携を図りながら事業の促進に努めてまいります。



▲今年も実施されている米の全袋検査

質問 まちなか再生委員会から提言をいただいた、まちなか住宅の整備、中心市街地の整備、自由民権史跡の整備など、国県の補助事業を活用しながら実現を図ってまいります。

質問 自治センターを中心とした地域社会活性化をどのような視点に立って進めるのか。

質問 高齢化対策について。

質問 子育て支援と教育の充実をどのように進めるのか。

質問 産業の振興について基本的な施策は。

質問 社会資本整備推進について。

Q 新庁舎建設事業費の変動、増額分の対応策は

A 事業内容を見直し15億4千万円以内で

遠藤 貢蔵議員



質問 今年5月に町政懇談会で示した15億4千万円から、人件費、資材等の変動はないのか。

質問 15億4千万円以内とした予算に対し変動増額分の対応策は。

質問 行政改革に取り組む決意、姿勢は。

質問 子育て支援と教育の充実をどのように進めるのか。

質問 産業の振興について基本的な施策は。



▲杭打ち工事が完了

質問 表層転石処理や杭打ち工法の変更により、工事が遅れているが、間に合うのか。

質問 統合一校に向けた準備の状況は。

質問 統合一校に向けた準備の状況は。



渡邊 實議員

Q 鈴木家復元の計画は

A 主屋の復元は、まちなか再生行動計画で検討

質問 石川の人たちが政府弾圧の中、国を思い、地域を思い、憲法制定や国会開設をめざし活動したことは町民の誇りです。鈴木家の復元計画は、まちなか再生行動計画で、復元、活用を検討します。

質問 現町有地では狭く、新たな買収の考えは。

答弁 土地買収も検討課題に入れて、進めます。

質問 鈴木家以外の自由民権史跡調査の考えは。

答弁 調査を行います。

質問 来年は石陽社結成140周年、町の取り組みは。

答弁 前向きに検討します。

質問 安在氏の資料寄贈で、高知市の自由民権記念館、町田市の自由民権

資料館に次いで、福島県全体をカバーする全国3番目の「福島自由民権資料館」になれる条件ができた。建設の考えは。

答弁 保存や催しは関係団体と検討し、前向きに進めます。

Q 教育委員定数6名にする考えは

A 今後の検討課題にします



▲復元された鈴木家跡の薬医門

質問 地方教育行政法が改正され、来年4月から施行される。改正点は町長が総合教育会議を主催し、教育長が現教育長と教育委員長両方の権限持つこと。教育長の事務の範囲は。

答弁 教育長は教育委員会の意志の範囲内で事務を進めます。

質問 教育長任命同意を求める議案の時、議会から所信表明や質疑を求めたら可能か。

答弁 できます。

質問 教育委員の定数を6名にする考えは。

答弁 今後の検討課題にします。

質問 町長と教育委員会の総合教育会議の議題は。

答弁 教育大綱を策定し、予算や施設整備、環境整備を進めます。

備などを議論します。

質問 総合教育会議の事務局は。

答弁 原則は町長部局、しかし、教育委員会に委任できます。

Q 高齢者への宅配事業の検討を

A 民間宅配事業を守る

質問 町の高齢者の状況は。

答弁 8月現在で65歳以上5100人、高齢化率30・7%です。

質問 高齢者から「買い物に行けない」「調理が大変」の声がある。宅配事業の検討は。

答弁 アンケートでも「買い物サービス受けたい」人が一番多い。民間

企業の食材や弁当・生活用品の宅配事業を見守るとともに、地域で支える体制づくりを検討します。

要望 買い物ができない人は約500人、買い物サービスを受けたい人は約430人います。

来年から高齢者保健福祉計画で検討を要望。

Q 御意所街道のバイパス計画は

A 今年度から調査・測量を実施

質問 県道いわき石川線の復旧見通しは。

答弁 来年1月中旬には全面開通の予定です。

質問 バイパスの計画は。

答弁 県では改良工事を計画し、今年度から調査・測量に入る予定です。

Q どうする千五沢ダムのごみ処理

A 前向きに検討する

質問 千五沢ダムが建設されて数十年が経ち、水質の問題ばかりが話題になっておりますが、上流からのゴミ、周辺道路に捨てられたゴミ、粗大ゴミ等の不法投棄により大変劣悪な状況になっている。

町は行政指導によるダムの清掃を行う考えがあるか。

答弁 現在、町が大々的にダムの清掃を実施するという事は考えておりません。

流入するゴミの問題は、立て看板の設置等で注意喚起を行い、ゴミの減量化を呼び掛けていきたいと考えております。



▲ボランティアによる清掃活動

れた現石川小学校ですが、厳しい財政の中、改修という選択はなかつたのか。

また、新小学校を建築するメリットは何か。

答弁 現石川小学校は建築から43年が経過しており、耐震診断でも倒壊等の危険性が高く、大規模改造工事が不可欠である点や、仮設校舎への一時的な引越等、児童に悪影響を及ぼしかねないと考えての事です。

メリットは、現石川小学校と別敷地であるため工事の影響が最小限である事、『千五沢ダム浸水想定マップ』でも安全な場所とされている事、小

中学校で推進されている『連携・一貫』教育の実現にきわめて利点の多いという点です。

質問 平成26年1月8日に『学校施設の長寿命化改修の手引き』が文部科学省から通達された。大規模改造が実質地方負担66・7%に対し、この長寿命化改修を使用すれば26・7%と大変軽い負担で済むものですが、採用しなかつた理由は。

答弁 実際に25年から建築が進んでいましたので、採用されませんでした。

質問 校歌も新しくなるこの事ですが、親と子が入学式、卒業式等で一緒に同じ校歌を歌えることは素晴らしいことだと思います。

新しい校歌に変える理由は。

答弁 27年4月に開校する石川小学校は6つの小学校を統合した新たな学校で、校歌、校章等を一新し、今後新たな歴史を刻んでいくという考えです。

秋山 茂雄議員



質問 毎年『河川クリーンアップ作戦』を実施しているように、千五沢ダムも『千五沢ダムクリーンアップ作戦』を設けてはどうか。

答弁 『千五沢ダムクリーンアップ作戦』については、前向きに検討いたします。

Q 現石川小学校改修の選択はなかつたのか

A 改修するより、新築するメリットの方が大きい

質問 昭和45年に建てら



▲白い大きなものは冷蔵庫

新しい校歌に変える理由は。

答弁 27年4月に開校する石川小学校は6つの小学校を統合した新たな学校で、校歌、校章等を一新し、今後新たな歴史を刻んでいくという考えです。



角田 忍議員

Q 千五沢ダム再開発事業とは

A 治水機能を付加するため、既設洪水吐きの改築を行う

現在、改築工事により堆砂計画容量は、現在の140万トンから220万トンへ80万トン増となる。



▲改築される千五沢ダム

が、改築工事により堆砂計画容量は、現在の140万トンから220万トンへ80万トン増となる。

ります。

再開発事業と、今出川、北須川の整備との関連は。

再開発事業及び今出川、北須川の整備事業は、平成21年7月に県が定めた『社川圏域河川整備計画』において、本町の市街地を中心とした地域の洪水被害の軽減を図るため行われるものです。

計画では、既設ダムの活用ができ、河川環境への影響が少なく済む対策として、治水機能を有する千五沢ダムの改築、今出川及び北須川狭窄部の引堤、築堤による河川断面の確保を図るための河川改修が位置づけられたものであり、現在、これらの整備に向けて取り組んでいます。

湖水の水位を下げ、ダムに流入する堆砂の放射能検査を実施すべきと思うが。

堆砂の放射能検査につきましては、ダム建設サイドで施工時に施工箇所の低質を巻き上げることから、水道水等の影響を考慮し、低質の放射能測定を随時行うことになっていきます。今年度、県の農地管理課で実施する予定と聞いておりますので、町では検査を考慮していません。

水道第4次拡張工事の原水取水を貯砂ダムより取水できないか。

貯砂ダム工事は、当初検討されたものと思われませんが、平成33年度竣工予定の千五沢ダム再開発事業では、計画に組み入れられていません。原水をダム上流から取水できないか、独自に流量調査を行い、その可能性を探ってまいりましたが、昨年これらの調査資料等を基に、上流二河川の過去10年の流量を調べた結果、平田川で10カ年中5年、北須川では10カ年中8年が水量不足となり、平成24年8月の濁水期には平田川で5万立方メートル、北須川で6万6千立方メートル不足することが判明。上流での取水は、利水安全度から断念せざるを得ないと考えています。

再開発事業では、計画に組み入れられていません。

原水をダム上流から取水できないか、独自に流量調査を行い、その可能性を探ってまいりましたが、昨年これらの調査資料等を基に、上流二河川の過去10年の流量を調べた結果、平田川で10カ年中5年、北須川では10カ年中8年が水量不足となり、平成24年8月の濁水期には平田川で5万立方メートル、北須川で6万6千立方メートル不足することが判明。上流での取水は、利水安全度から断念せざるを得ないと考えています。

石川小中学校は耐震診断の結果、耐震をしないと使えないはず。耐震に、どれくらいかかるのか。

東側だけの耐震補強ですと8、500万円ですが、全部実施すると4億4、000万円になります。

低賃金の非正規労働者の増加が生活や教育の格差と貧困を増幅させています。最近自治体の職員にも非正規の職員が増えています。石川町役場に雇用されている非正規職員の賃金や一時金など待遇改善の考えはあるか伺います。

平成23年3月に臨時職員賃金の引き上げ、保育士、介護認定調査員に対する加給金の支給、直近でも人材確保が困難な職種の処遇改善など、所要の措置を講じて来ましたが、今後も社会経済環境の変化や近隣市町村の状況、民間企業の賃金水準などを踏まえ、適切に対応してまいります。

Q 空き家対策の具体的施策は

A 空き家を活用した子育て世代の支援



中村孝太郎議員

石川の人口を将来1万6千人に維持するためには住宅政策も重要な課題です。民間の宅造などからも、宅地や住宅の需要があるのは明らかです。

町営住宅の現状と今後の住宅施策について、空き家対策の具体的な施策について伺います。

町営住宅は167棟250戸あります。約68%が耐用年数を経過するなど、老朽化が進んでいるので、長寿命化のための、年次計画による改善・整備などを推進します。

近年の空き家の増加は防災・防犯・景観上から

も全国的に問題になっています。本町でも少子高齢化や人口減少と共に増加が予測され、空き家の実態調査の実施と、現在策定中の住生活の計画に空き家を活用した子育て世代の支援策も検討します。

第5次総合計画の前倒しと、町分譲地の売れ残りの活用について。計画の前倒しは可能。分譲地の活用は時間がかかります。

石川町の平成26年

9月1日の人口は1万6、633人で、国立社会保険・人口問題研究所の推計より早いスピードで減少し、平成47年には1万2、679人に減少すると推計されています。石川町は新役場庁舎建設にあたって、将来人口を1万6千人と設定しました。将来人口をどう推計するかは、将来の町の設計に大きな意味を持ちます。

石川町の将来人口を1万6千人を維持するための具体的な施策は、

目標

人口維持のための具体的な施策は、子育て支援と教育環境の充実、定住促進のための住環境の整備を中心とした社会資本の整備、雇用の確保するための産業の振興を一層充実させ



▲老朽化が進み早期改善・整備が望まれる町営団地

Q 石川小中学校の耐震はどれくらいかかるのか

A 全部やると4億4千万円になる

一般質問のその後は

平成25年9月定例会より

まちなか再生行動計画の進捗状況は

●「庁舎建設検討委員会」から出された付帯意見の扱いは「中心市街地の活性化と町有地の活用は、まちなか再生委員会」で議論されています」との答弁だったが、その後は、

●中心市街地の活性化と町有地の活用は、本年2月に「まちなか再生委員会」より提言を頂き、4月に庁内において「石川町まちなか再生推進本部」を組織し、議論を進めておられます。

●本計画については、各種団体との意見交換を踏まえて、11月下旬を目途に計画策定を進めております。1.まちなかの拠点づくり、2.まちなかの賑わいづくり、3.歴史・文化のまちづくり、4.住みやすい環境づくり、5.公共用地の活用、5つの基本目標を定め、町の第5次総合計画後期基本計画との整合を図り、前期、中期、後期の10



▲中心市街地(まちなか)の活力と賑わいを

カ年の中で事業を実施していく考えです。一

部については平成26年度から着手し、平成27年度から実施していきます。財源については、最大限補助事業を活用する考えです。

共同福祉施設の改修はどのような内容か

●「施設老朽化に伴い、空調施設、電気施設の改修やステージの拡張と反響板の設置、控え室などの設置をする」との答弁だったが、その後は、

●1階集会室は、冷暖房等空調設備が老朽化したため改修を行い、あわせてステージの拡張、移動式反響板を設置しました。

●音響設備も改修を行い、一カ所しかなかった控え室については、エントランスを一部改修し、追加工事を行いました。

●2階は、会議室エアコン設置工事とバルコ

また、夜間利用の機会が増えていることから、エントランス及び階段、2階フロアの照明設備の改修を行っております。

また、夜間利用の機会が増えていることから、エントランス及び階段、2階フロアの照明設備の改修を行っております。



▲改修されたステージ

新議員の紹介

新たに2名の議員が初当選しましたのでご紹介いたします。

両議員ともに町民の代表者として、全体の奉仕者であり、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指し、ご活躍を期待します。



山田 英重 議員
(総務産業建設常任委員会)

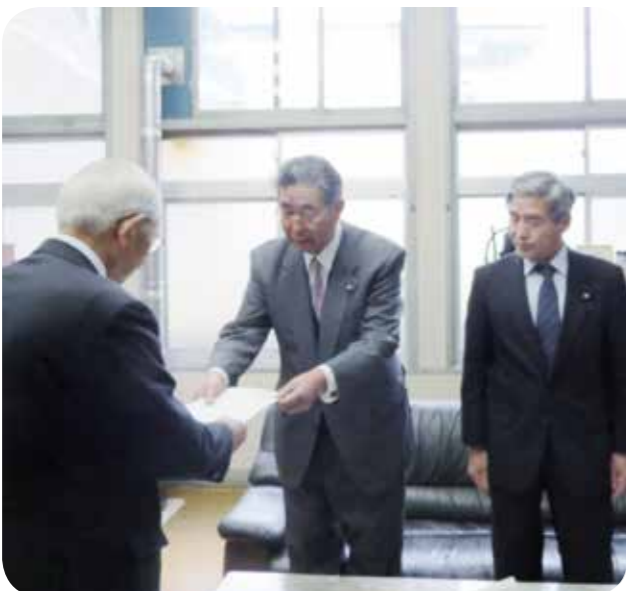


秋山 茂雄 議員
(文教厚生常任委員会)

未来に希望の持てる農業政策を推進する決議

J A全農ふくしまは9月11日、平成26年産米の概算金を決めた。福島県中通り産のコシヒカリ(60キロ当たり)は前年対比で3千900円安い7千200円と過去最低水準となった。

今回の採算ベースを割り込む価格決定は、農業の担い手や稲作農家に大きな打撃を与え、農業所得の減少により地域経済に与える影響が大きいと思われる。このため、石川町及び関係機関・団体と連携し、地域を守り、将来にわたり持続的に農業を発展させるために全力を尽くす趣旨の「農業の未来に希望の持てる農業政策を推進する決議」を全会一致で可決した。



▲町長へ米価下落対策を緊急要望

予算・決算の審議について先進事例を研修

議会運営委員会では、予算・決算特別委員会について先進的な取り組みをしている山形県白鷹町、川西町議会において所管事務調査を実施しました。2日間にわたり、特別委員会の予算・決算の審議等について先進事例を研修しましたが、白鷹町の効率的運営や川西町の日数をかけた慎重審議など、本議会においても取り入れるべき点が多く見られる大変参考になる研修となりました。



▲山形県白鷹町議会

未来に向かって!!

― 高校生の声 ―

学法石川高校

3年 塩田あかね

石川町に生まれ育って



塩田あかねさん

石川という町には、和やかな雰囲気があり穏やかな時間が流れています。120年以上も前からこの地に根ざした学法石川高校での生活も残りわず

私は、昨年の秋から生徒会書記として活動してきました。朝のあいさつ運動に始まり、様々な学校行事を通して、生徒ひとりひとりが充実感を持つことができる学校、つくりを目指したものです。中でも、あいさつ運動の経験からは、人と触れ合うことの喜びを感じました。先生方や生徒間はもちろん、地域の方々に対する積極的な関わりのおかげにもなりました。私の生まれ育ったこの

かとなってしまいました。現在は受験勉強に励む毎日ですが、私にとつての大学進学とはこの町を離れることを意味していません。想像すると寂しく、たくさんの思い出が浮かんできます。

特に印象深いのは、毎年参加していた石都々古和気神社例大祭です。各町の神輿が並び行われる壮大なパレードは、担ぐ人も見る人も一体となって盛り上がり、活気あふれる行事です。



▲生徒会活動の一場面

しかし最近では、このような機会が少なくなっているように感じます。私は、石川町の持つ温かさや、変わらぬことにあることを願っています。そのため、子どもからお年寄りまで安心して生活でき、触れ合うこと



をより具体的に思い描いたことでその気持ちにはさらに強いものとなりました。学習に取り組みの中で新聞を読む時間も増え、少しずつ自分の視野が広がってきたのを感じます。石川町で過ごした日々を胸に、多くの人々と関わりながら成長し人の役に立つ存在になること、それが私の夢です。

のできる環境づくりが必要であると思います。また、統合という形で私の卒業した小学校が閉校になることを知り、少子化などさまざまな問題についても考えさせられました。

- 議会広報編集特別委員
- 委員長 草野 伝明
 - 副委員長 関根 武一
 - 委員 下山和雄
 - 委員 渡邊 實
 - 委員 遠藤 貢蔵
 - 委員 角田 忍

編集後記

役場庁舎位置変更決定から1年8カ月。新庁舎建設事業予算が可決され、本格的に動き出します。

移転による不便さの解消のため、役場の住民サービス窓口を石川自治センターに置きたいと考えているようです。

そして何よりも移転による跡地の利用等、今までのまちづくりとは違う、新たなまちなか再生に向けた取り組みが始まります。

すでに計画案が作成されていますが、町主導のみでは成功するわけもなく、町民のアイデアをなくしてよき成果、結果は得られせん。機会あるごとに提案と参加型で、共に再生を成し遂げようではありませんか。夢を夢で終わらせないためにも。

遠藤貢蔵